

教育の推進 小中一貫	中期（3年間） 経営目標 【 】は主任・主事	短期（今年度） 経営目標 （3/3）	目標達成のための手立て	評価指標	自己評価		学校関係者評価		改善計画
					7月 評価	結果と課題の説明 (実割合：%) 【達成率：%】	7月 適正	意見等	改善案
確かな学力	主体的に学習に取り組む、基礎学力を身に付けた児童を育てる。 【吉川】 市岡 杉村	「基礎・基本」の学力を身に付けた児童にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者基点の授業づくりを励行し、振り返りを徹底して行う。 ・昼ドリルを工夫するとともに、実施を徹底する。 ・クロームブック等ICTを活用する。 ・家庭学習をやり切らせるための取組として、寺子屋あさひ、学習時間の確認カードを実施する。 ・週末読書の励行と、読書量の確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科、算数科の単元末テスト平均点85点以上 ・30%未満の児童無し ・全国学力・学習状況調査の正答率平均以上 ・振り返りの視点をもって振り返りができている児童80%以上 ・CITの平均点が全国平均以上の児童80%以上 ・家庭学習をやりきった児童の割合80%以上 ・全校児童で6000冊読破 	4 【81.1】	<p>○国語・算数の単元末テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校平均(81点) 【95.3%】 ・30%未満の児童(3名) <p>○全国学力・学習状況調査正答率【94.3%】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語 旭小 62% 広島 67% 全国 65.5% ・算数 旭小 60% 広島 64% 全国 63.2% ・理科 旭小 59% 広島 66% 全国 63.3% <p>目標に届かなかった。特に全国学力・学習状況調査の結果は芳しくない。共有した改善策を基に、低学年からしっかりと指導していく。らんさほ事業も軌道に乗ってきた。今後の成果も期待したい。</p> <p>○振り返りの視点をもって振り返りができている児童 (56.3%) 【70.4%】 振り返りの視点を意識できていない児童が多い。まずは教師が意識し、指導を徹底する。</p> <p>○CIT (学力テスト) は1月末実施予定</p> <p>○家庭学習をやりきった児童</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケート(61.4%) 【76.8%】 ・児童アンケート (87.0%) 【108.8%】 平均 【92.8%】 <p>児童と保護者のアンケート内容に差異があったこともあり、児童と保護者の肯定的回答には差がある。「丁寧に」「時間いっぱい」取り組む習慣づくりが課題である。</p> <p>○読破数(3175冊) 【52.9%】(9月12日現在) 旭っ子 30冊の取り組みや読書貯金通帳、図書委員の取り組みの成果もあり、現時点で目標の半分を読破。</p>	4	<p>バランスよく、文武両道は難しいのかと感じた。達成率の判断の仕方により課題が見えづらくなっている。</p> <p>旭の学力を形成していくために、児童が学習に根気強く取り組む姿勢はまだ不十分に感じる。</p> <p>体力の取り組みと同様「できる」「楽しい」という思いを生み出せるような取組に加え「鍛える」という取組も必要である。</p>	<p>全国学力・学習状況調査で明らかになった課題に対する改善策に継続的に取り組む。</p> <p>昼ドリルは形態を変えて集中力を高めるためのプログラムを実施する。(1～3週は算数、4週目は音読)</p> <p>教員・児童が共に振り返りの視点を意識できるよう、掲示を整える。</p>

豊かな心	<p>自律の心を育み、社会性を身に付けた児童を育てる。</p> <p>【森藤】 佐伯 稲田</p>	<p>明るい挨拶・返事と正しい言葉遣いのできる児童にする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会の月目標による学級ごとの取組の実施。(毎月確認) ・あいさつ運動、そうじ強化週間を設定し実施する。 ・自己評価、他者評価を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旭小3つの宝(あいさつ・無言掃除・時間を守る) ← (1日10人以上に進んであいさつ・黙ってていねいに・チャイム席) ・評価アンケートの児童の肯定的評価 80%以上。 	<p>4</p> <p>【101.8】</p>	<p>○あいさつアンケート→保護者・児童共に肯定的な評価が多い。【96.0%】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケート (77.1%) 【96.4%】 ・児童アンケート (76.5%) 【95.6%】 <p>○無言掃除・時間を守るという項目についても目標を達成している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート 【99.4%】 無言掃除 (84%) 【105%】 時間を守る (75%) 【93.8%】 <p>○自己肯定感があるかのチェックシートでは、中学年の結果が低めになっている。自信が持てるような声掛けや、達成感を感じられるような体験の仕掛けを、学校・家庭共に工夫していく必要がある。</p> <table border="0"> <tr><td>1年</td><td>(100%)</td></tr> <tr><td>2年</td><td>(92%)</td></tr> <tr><td>3年</td><td>(84%)</td></tr> <tr><td>4年</td><td>(70%)</td></tr> <tr><td>5年</td><td>(92%)</td></tr> <tr><td>6年</td><td>(92%)</td></tr> <tr><td>全体</td><td>(88%) 【110%】</td></tr> </table>	1年	(100%)	2年	(92%)	3年	(84%)	4年	(70%)	5年	(92%)	6年	(92%)	全体	(88%) 【110%】	<p>4</p> <p>挨拶を自分からする児童、挨拶を返してくれる児童は少ない。挨拶自体も昨年度と比較すると元気がないように思う。コロナ禍の影響もあるのか。しかし、大人が「大きい声を出そう」と注意したり、呼びかけたりすることは少し違うように思う。挨拶をされると嬉しいという話を伝えることも大切なのではないか。また、挨拶と防犯のつながりを知らせることも必要である。</p>	<p>挨拶の声の大きさやタイミングの指摘をしていただき、児童会とも相談をし、自分達で「どうすればあいさつができるようになるのか」という案を全校に募り活動につなげていく。</p> <p>防犯教育や避難訓練時にも合わせて「声を出す」ことの大切さについて指導していく。</p>
1年	(100%)																					
2年	(92%)																					
3年	(84%)																					
4年	(70%)																					
5年	(92%)																					
6年	(92%)																					
全体	(88%) 【110%】																					
頑張る体力	<p>健康で丈夫な心と体づくりを推進する。</p> <p>【戸羽】 【山下】 鎌倉 川下 藤元 下地</p>	<p>進んで運動に親しみ、心身共に健康な児童を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体育科の授業改善を行い、運動の楽しさや喜びを感じさせる。 ・運動・遊びの環境を整え、運動や遊びへの意欲を喚起するとともに、運動・遊び時間を増加させる。C・Sとも連携を図る。 ・体育的行事や体育的活動を充実させ、運動のきっかけづくりを行う。 ・アウトメディアカードを作成し、児童と保護者への啓発を行う。 ・基本的生活習慣や食事マナーを身に付けることの意義を児童に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「運動や遊びが好き」と肯定的な回答をする児童 90%以上。 ・「体育の授業が楽しい」と肯定的な回答をする児童 85%以上。 ・毎日外遊びをする児童 80%以上。 ・毎日朝食を摂取する児童 95%以上。 ・毎日早寝・早起きができてくる児童 75%以上。 ・新体力テストの全国平均以上の項目 75%以上。 	<p>4</p> <p>【106.1】</p>	<p>(肯定的な回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動や遊びが好き ・児童 (93.8%) 【104.2%】 ○体育の授業が楽しい ・児童・90.1% 【104%】 ○毎日外遊びをする ・児童 (81.4%) 【101%】 ○毎日朝食を摂取する 【101%】 ・児童 (96.9%) 【102%】 ・保護者 (95.3%) 【100%】 ○毎日早寝・早起きができてくる 【101.2%】 ・児童 (82.1%) 【109%】 ・保護者 (70.1%) 【93.4%】 ○新体力テストの全国平均以上の項目 15/16 (93.7%) 【124.9%】 <p>※前年度の結果と比較</p>	<p>4</p> <p>体力に関しては、徐々に力が付いていることがうかがえる。</p> <p>早寝早起きは家庭のことなので分からないが、児童と保護者の意識の差がみられる。今後はその意識の差について分析していく必要があるのではないかと。</p> <p>登校班では遅刻はほとんど見られないので、保護者の努力が感じられる。</p>	<p>アンケート内容を精査するなどの工夫を講じることで、「毎朝朝食を摂取する」や「毎日早寝・早起きができてくる」の項目において、保護者と児童の数値が離れている原因を追究する。その結果を基に、児童と親の意識の差を埋めるための取り組みを計画する。</p>														

<p>地域と創る学校</p>	<p>保護者や地域からの信頼に応える学校づくりをめざす。</p> <p>【吉川】 鎌倉</p>	<p>地域とともにある学校をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域向けギャラリーを充実させる。(校門前掲示板や児童玄関) ・各学習へ地域「人財」を積極的に活用する。 ・地域行事を児童・保護者に向け視覚化する。(カレンダーや月行事予定表へ行事を明記) ・ICTを活用した効果的、積極的な情報発信を行う。(各種たより、ホームページ等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域向けギャラリーの使用、各学年年間1回以上 ・児童・保護者アンケートの肯定的評価 90%以上 ・地域行事に参加した児童 90%以上 ・地域と関わる学習活動(地域から学校・学校から地域)を各学年1回は必ず行う。 	<p>4</p> <p>【86.3】</p>	<p>○地域向けギャラリー現在使用率【28.6%】(2年、6年済、4年計画中)</p> <p>○子供の思いや保護者の声を聞こうとしている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケート (94.2%)【104.7%】 <p>○学校だより、HP等で情報提供をしている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケート (96.0%)【106.7%】 <p>○学校と地域のよいつながりができている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケート (93.0%)【103.3%】 <p>○地域や社会をよくするために考えている</p> <p>【76.6%】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート (73.5%)【81.7%】 ・保護者アンケート (64.3%)【71.4%】 <p>学校への保護者の評価は概ね肯定的である。児童生徒の地域社会への意識が昨年度と比較するとわずかに上昇している。CSの取り組みの効果が少しずつ表れているのかもしれない。</p> <p>○地域行事に参加している 【91.8%】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート (80.9%)【89.9%】 ・保護者アンケート (84.2%)【93.6%】 <p>○地域とかわちる学習や活動をしている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート (83.3%)【92.6%】 <p>少しずつ行事の開催も再開され、昨年度と比較すると数値は上昇している。(昨年度地域行事参加は約85%)1学期に地域と関わる学習活動は、コロナ禍の状況の影響もあるが、工夫を凝らしながら学年に応じて協力を得ている。</p>	<p>4</p>	<p>地域の敬老会是非開催だったが、子供にメッセージの協力を受け、それを添付した記念品の配布を行った。児童の協力に感謝している。</p> <p>掲示物の取り組みは、今年度も残りの期間が限られているので、計画的に実施してもらいたい。また、公民館等への出張ギャラリーも視野に入れてもらう。過去にあった地域での映像展示だが、長いものは留まってみるのは難しい。</p>	<p>地域向けギャラリーの更新を計画的に行う。掲示板だけでなく、児童玄関も活用する。旭公民館に1～2月頃に児童作品を展示予定である。</p> <p>人財の積極的活用かつ、今後へ生かす為、人材バンクを作成していく。また、道徳参観日などの機会を生かして、地域行事にゆかりのある方からお話を聞く機会を設ける。</p>
----------------	--	------------------------	--	---	------------------------	---	----------	--	---